

カナダでできた宝物

(2022年3月 2週間)

古越 由菜

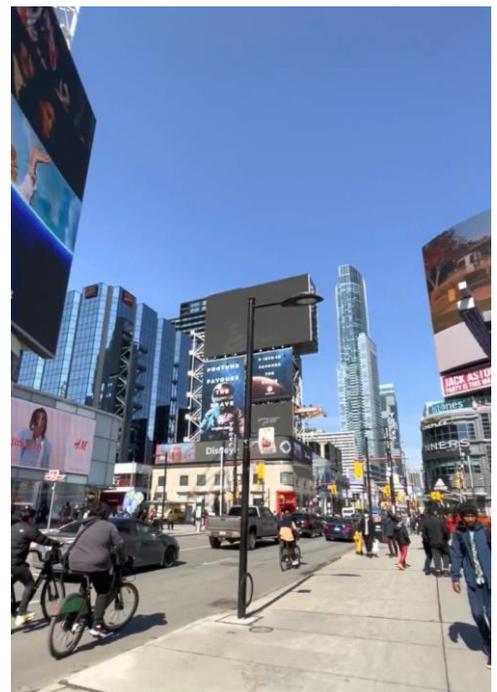
私が2週間の短期留学を決めたのは、コロナがきっかけです。2年次にあるオーストラリア語学研修を、私が染谷の国教に決めた理由の一つといっても過言ではないくらいにとっても楽しみにしていました。しかしコロナの影響で語学研修だけでなく修学旅行など様々なことが制限され、せっかく国教に入ったんだからなにか自分でできることはないかなと思っていました。そんな時に友達がアメリカへ一年留学に行くのを聞いてコロナ禍でも行けるんだーとなんとなくスマホで留学について調べました。この時はただ夢のような気持ちで自分が行くとは思っていませんでした。でも調べれば調べるほど行きたい気持ちがどんどん増して行きやがて現実的に考えるようになりました。ですが留学といえば費用もかかるし両親に相談するのは少し気が引けました。でも両親は由菜がやりたいことをやりなと言ってくれ、それが私にとって留学を決める最後のきっかけになりました。それからエージェントや学校、国、期間など一から自分で調べました。沢山ある中から自分にあった物を選ぶのは難しかったですが調べている時はものすごく楽しかったです！正直留学に行く前は、頑張るぞ！という気持ちの反面、たった2週間で自信をもって”留学”と言うことはできませんでした。そして初めての海外ということもあり不安の方が大きかったです。班活の先生や担任の先生、友達が応援してくれたことがとても励みになりました。

そんな中いよいよ3月5日、私の初めての留学が始まりました。約15時間のフライトを終え無事カナダのトロントに着きました。ドキドキしながらホームステイ先に着くと、ホストファザーが出迎えてくれました。少し顔が怖くて余計自信を無くしました。しかし話したらとても優しい人で、すぐに仲良くなれました。家に着いたのは夜だったのでその日は部屋やお風呂を案内してもらった後すぐに寝ました。次の日は学校が休みだったので、ルームメイトの日本人と一緒に通学に使う定期を買いに行ったり家の周りを歩き回りました。



月曜日から学校が始まりました。私の学校は 9:30 から 13:00 までで、日本の高校に比べて大分短い 1 日です。学校の最寄駅に着くと、学校の場所がわからなくて迷ったので近くを通った人に聞いたらその人がたまたま生徒でした。一緒に行こう！と言ってくれました。その子はドイツとフランスのハーフの子でリアといい、私が学校でできた初めての友達です。勇気を出して聞いて良かったと心から思いました。学校に着くとリアが、ワークショップに誘ってくれました。ワークショップは、授業前にやる自由参加のプログラムで世界の文化やスポーツについて勉強し

ました。リアや、リアの友達が私を真ん中の席に入れてくれたり学校やトロントについて教えてくれて嬉しかったのと、友達ができたと安心したのを覚えています。ワークショップが終わり、初めてクラスに入りました。私のクラスはフランス人が多く、その他は日本人、イラク人、ドイツ人の 8 人でした。先生やクラスメイトが沢山質問してくれたので緊張が解けリラックスして授業を受けることができました。しかし授業終わりの自分はこの時とは正反対、すごく絶望したのを覚えています。なぜかと言うと、聞き取れるのに自分の言いたいことが英語でパツと出てこず結局学校初日、自分ができたのはうんうん、と相槌を打つことと意見を少し言うことだけだったからです。私はこれでは日本にいるのと何も変わらない！と思い、次の日から失敗してもいいから沢山話すことを意識しとにかく自分から話しかけました。聞き返されたらそれを伝えるように説明する→相手が分かってくれるの繰り返しで、自分の拙い英語でもなんとか伝えようとすれば絶対伝わるし、会話が弾むことがなにより嬉しくてもっと話したい！と思えるようになりました！また授業ではチームワークやペアワークが多く、私は元々発言が苦手な方だったのでそれをチャンスに自分の意見をどんどん言いました。自分の



意見に皆が共感してくれることがとても嬉しかったです。また、私の学校ではゲームも沢山やりました。例えばホワイトボードに書かれた単語を、自分のチームの1人にその単語を言わずに伝えるというゲームです。よくいうように向こうの人たちはリアクションが大きく、私が正解した時にもさすが！！とすごく褒めて盛り上がってくれてそれが嬉しかったです。ゲームを通してより皆と仲良くなりました。皆が自由に発言できて、間違えを答えの一環のように考えてくれる先生や分からないことをその時すぐに質問できることが私は、少人数の学校を選んで本当に良かったと思いました。友達もたくさんでき、学校が始まって最初で最後の休日にはリアが誘ってくれて、リアと、リアの友達と4人でハンバーガーを食べに行きました。レストランに行くと1人2000円くらいするよと聞いていたことが本当でびっくりしました！でもすごく美味しかったので気にせず食べました(ポテトの量がすごく多かったです)。放課後には友達とマックに行ったりダウンタウンを観光したりして充実した学校生活を送ることができました。学校の最終日には友達が、今度はフランスに来てね！とか帰らないで～と言ってくれたことがとても嬉しかったです。



皆フレンドリーで話しやすいし、お店では必ず挨拶されてレジの人も私が持ってるバッグや帽子やなにやらを沢山褒めてくれました。工事をしている人でさえ、Have a nice day!と声をかけてくれました。この文化が大好きです。エントランスドアも次の人が来るまで開けて待っていてくれたり、エスカレーターに乗る時に譲ってくれる人がいたりなど海外に行ったことがない私にとっては一つ一つが初めてで感動することばかりでした。そういう反面そこらじゅうにホームレスの人や1人で叫んでる人がいたのはとっても怖かったです。気をつけないとなあと思いました。

私のホストファミリーは料理がとても上手で毎日朝昼晩とても美味しいご飯が食べられました。朝はシリアル、昼はサンドウィッチとフルーツを持たせてくれ、夜はお肉ということが多かったです。また、日本人留学生を多く受け入れているようでお箸やインスタントのお味噌汁を用意してくれていたのもとても助かりました。ご飯のとき以外は各自部屋で過ごすことが多かったのですが、学校から帰ってきたときにはただいまと声をかけてなるべくたくさん会話を作るようにしていました。そうすると学校 どうだった?と聞いてくれて会話が弾み、ホストファミリーともいつの間にか仲良くなれました。ホストマザーが看護師をやっていることもあり、この短い期間で休日どこか一緒にお出かけするということはできなかったですが毎日一緒にご飯を食べ、お互いの国のことなど沢山お話をして仲良くなれたことが私にとって何より嬉しいことでした。私が帰国する時には、ホストマザーがボディスクラブやお菓子を買ってくれました。家を出る時にはハグをしてさよならしました。



長く休んでいたのに、班活の仲間がおかえり！と迎えてくれたのがすっごく嬉しかったし、学校初日のことを話したら、初めてなんだから当たり前だよ。絶対話せるようになるよ！と言ってくれたホストファミリーや、電話で話を聞いて励ましてくれた日本の友達のおかげで充実した生活を送ることが出来ました。今ならこの2週間を”留学”と自信を持って言えます！

私がこの2週間で学んだことは、とにかくたくさん話すことが大切だということです。学校でもホストファミリーの家でも同じだと思いました。留学に行けば自然と友達ができるんだろうなあと思っていましたが、やっぱり自分から話しかけないと相手もこの人一人でいたいのかなって思われるとおもうし、でも少し自分から話しかければ何倍もに盛り上がって絶対に仲良くなれます。でも私はその一歩を踏み出すのに時間がかかって、やっと皆と仲良くなれた！と思って気づいたらもう最終日でした。もっと皆んなと仲良くなりたいなあと思いました。あとは、日本人の友達を作ることです。これは私にとっても合っていたなと思うことです。行く前は、日本人とは絶対話さない！みたいな変なルールを決めていましたが、ルームメイトやクラスの日本人と話して皆同じ状況で頑張っているんだなあと感じ私も頑張ることができたし、同じ日本人から見た留学の話を直接聞いて様々な事を学びました。日本人と仲良くなることで他国の友達とも仲良くなることができました。短期間とはいえ1人で海外に行くのはすごく緊張したし最初は自分の英語力で行けるのかな？と不安がありましたが留学に行ったら本当によかったなと思いました。正直2週間で自分の英語力がグッと伸びたかと言われるとそうではありませんが、全てが初めての私にとってこれからの自分を考えるきっかけになったし自分がやりたいことが見つかったすごく大きな2週間でした。これが1年、2年だったらどれだけ濃い思い出ができるんだろうと何回も考えました。だからいつか絶対にもう一度留学に行こうと思っています。私を留学に行かせてくれた両親や先生、友達にとっても感謝しています。カナダでできた友達は一生の宝物です！！